豊見城市立長嶺中学校 生成 AI 利活用に関する校内ガイドライン

1. 目的と基本方針

本ガイドラインは、文部科学省「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」に基づき、本校（長嶺中学校）において生徒が生成 AI（Gemini 等）を安全かつ効果的に活用し、主体的な学びや情報活用能力の育成を図ることを目的とする。

生成 AI は生徒の思考や作業を肩代わりするものではなく、人間の能力を補助・拡張する「道具（ツール）」として位置付け、リスクを十分に理解させた上で指導を行う。

2. 対象学年と利用ツールの管理体制

対象学年	採用ツール	利用形態・年齢規約への対応
全学年	Gemini	Google Workspace for Education の学校アカウントで利用（管理者設定によりデータ再学習をオフ）。12 歳以上の生徒も安全に個別利用可能。

3. 教育的利活用の具体例

授業や特別活動において、以下の目的で生成 AI を活用する。

利活用の柱	具体的な利用目的
① 探究学習・思考力の深掘り	自力で議論・考察を行った後の補助ツールとして利用し、視点の抜け漏れ発見や多角的なアイデア発想（ブレインストーミング）に活用する。
② 個別最適な学びの支援	英会話練習相手や表現の改善アドバイス、各自の関心に応じた学習コンテンツの生成など、一人ひとりの学習ニーズに応じた対話相手として活用する。

利活用の柱	具体的な利用目的
③ 情報モラル・リテラシー教育	AI の不正確な出力（ハルシネーション）を教材として活用し、真偽を確かめるファクトチェック能力や情報技術の性質・限界を理解する力を養う。

4. 不適切な利用の禁止事項

- 夏休みの宿題、小論文、各種コンクール応募作品において、生成 AI の回答をそのまま自身の成果物として提出すること。
- 定期テストやパフォーマンス課題等の評価場面での無断利用。
- AI の回答を事実検証（ファクトチェック）なしにそのまま信用し、発表等に利用すること。

5. 情報セキュリティおよびプライバシー保護

- **個人情報・秘密情報の入力禁止：**
  生徒本人・他者の氏名、住所、電話番号、写真、連絡先等の個人情報は絶対に入力させない。
- **著作権の保護：**
  他者の著作物を権利者の許可なく入力しない。また、生成された画像や文章の著作権に配慮する。
- **データ再学習の防止：**
  Google Workspace for Education のドメイン管理設定（管理コンソール）にて、生徒の入力データが AI モデルの再学習に使用されない設定を徹底する。

6. 保護者・生徒への周知と同意フロー

- **保護者向け説明文の発行：**
  生成 AI の導入目的、安全対策、家庭での配慮事項を記載した文書（本ガイドライン）を配付する。
- **事前指導の実施：**
  AI 利用開始前に、全生徒を対象とした「情報モラルおよび生成 AI の仕組みと留意点」に関する事前指導を実施する。

7. 教員研修と運用の検証

- 教員向けにプロンプト作成やファシリテーション、セキュリティ管理に関する研修を実施する。（実施済み）
- 運用開始後は定期的に利用状況を点検し、教育的効果とリスク管理の観点からガイドラインを適宜見直す。